

## 2005年度受注が前年度から倍増 高圧インバータ「FSDrive-MV1S」の受注が好調

2005年度の高圧インバータFSDrive-MV1Sシリーズの受注台数が、前年度から倍増の100台以上となりました。

2005年2月16日の京都議定書の発効を機に省エネが世界的な課題となってきた中で、わが国のあらゆる産業分野において省エネに対する意識が一段と高まっていることが背景にあります。

受注増となった主な用途は、ポンプ・ブロワ等の風水力機械、大型冷凍機、一般産業機械での省エネです。

大電力を消費するような設備にインバータによるモータの可変速制御を付加することで、大幅な消費電力の削減ができ、省エネに対する貢献とランニングコストの低減というメリットを得ることができます。



高圧インバータ FSDrive-MV1S

加えて、これまでの豊富な納入実績、製品の高い信頼性により、お客様に安心してご使用いただけることが当社高圧インバータFSDrive-MV1Sシリーズのヒットに結びついたものです。

当社は、

- 海外システムインテグレータとタイアップした、海外省エネ市場への販売力の強化
- 高圧モータ駆動マシン適用市場からの可変速化要求に対するソリューション提供
- 全国展開しているPR活動を通じて国内更新需要への確実な対応

などにより、高圧インバータのビジネス展開を強化しており、今後は、国内及び中国、インドを始めとする海外の代理店の販売網を活用して、新規販売ルートを開拓し、本年度も受注倍増をめざします。

### 主な特長

- 世界トップクラスの高電力変換効率…98%
- 世界最小の外形寸法
- PLC内蔵により、あらゆる運転に対応可能
- 電流ベクトル制御によるハイレベル制御機能
- LAN対応による容易な運転状態の監視
- あらゆる電源条件に対応可能（復電時運転継続機能等）
- 優れた対環境性（高信頼コーティング等）

### ラインナップ

- 入力電圧 3,000V級/6,000V級
- 容量 200~3,000kVA/400~6,000kVA
- 価格 600万円~6,000万円

10,500V級 4,500~9,000kVA 開発中(06年9月から順次リリース予定)

### 製品標準仕様

3kV級	公称容量(kVA)		200	285	400	570	800	1150	1500	2300	3000
		最大適用モータ容量 <sup>*1</sup> (kW)		132	200	315	450	630	900	1250	1800
出力	定格電流(A)		35	50	70	100	140	200	260	400	520
	定格電圧		三相 3/3.3kV (正弦波)								
主回路電源			三相 3/3.3kV ±10% / 50/60Hz ±5%								
6kV級	公称容量(kVA)		400	570	800	1150	1600	2300	3000	4600	6000
	最大適用モータ容量 <sup>*1</sup> (kW)		250	400	630	900	1250	2500	1800	3600	5000
出力	定格電流(A)		35	50	70	100	140	260	200	400	520
	定格電圧		三相 6/6.6kV (正弦波)								
主回路電源			三相 6/6.6kV ±10% / 50/60Hz ±5%								

\*1 当社製4極の標準モータで示しています。

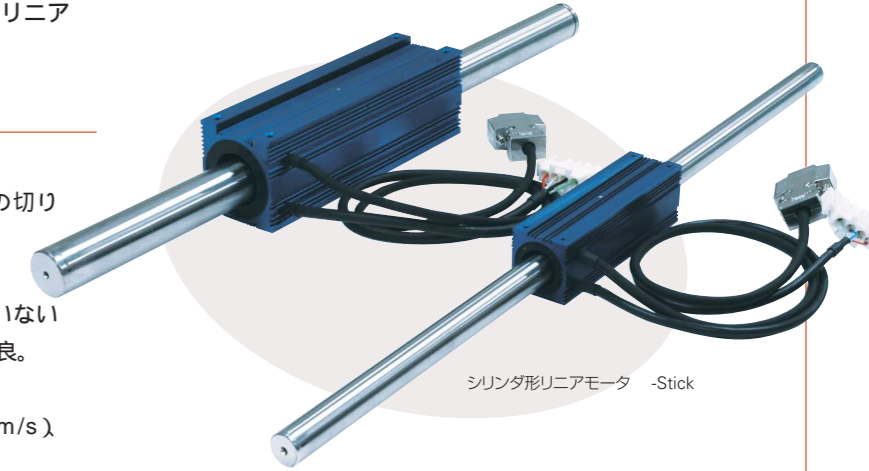
■お問い合わせ先:  
システムエンジニアリング事業部  
システム工場 第1技術部・ライブシステムグループ  
TEL (0930)25-2279 FAX (0930)25-2096  
http://www.yaskawa.co.jp/products/system.htm

## 機械への組込が簡単な シリンダ形リニアモータ「-Stick」を販売開始

リニアモーター機器ではここ数年、半導体製造装置、電子部品実装機や工作機に加え、一般搬送用途においても、高速化・高精度化・長ストローク化のニーズが高まり、「回転形サーボモータ+ボールネジ」による直動機構から「リニアサーボモータ」による直接的な直動機構への移行が具体化してきました。当社ではこの要求に応え、1999年以降Linearシリーズとしてコア付T形、コア付F形、コアレス形などフラット形リニアモータ製品を拡充してまいりました。

### 主な特長

- ボールネジ機構と同様の取り付け  
固定子両端支持であるため、ボールネジ機構からの切り替えに大幅な変更が不要。
- メンテナンスが容易  
ボールネジ機構に必要な不可欠な潤滑剤を使用していないため、メンテナンスフリーで、さらにクリーン性も優良。
- 高速運転が可能  
ボールネジ機構にある速度制限を解決し(最高速度4m/s)、高速運転によるタクトタイムの短縮が可能。
- 位置決め精度が向上  
リニアエンコーダと組み合わせたフルクロード制御とすることで、繰り返し位置決め精度が向上。



シリンダ形リニアモータ -Stick

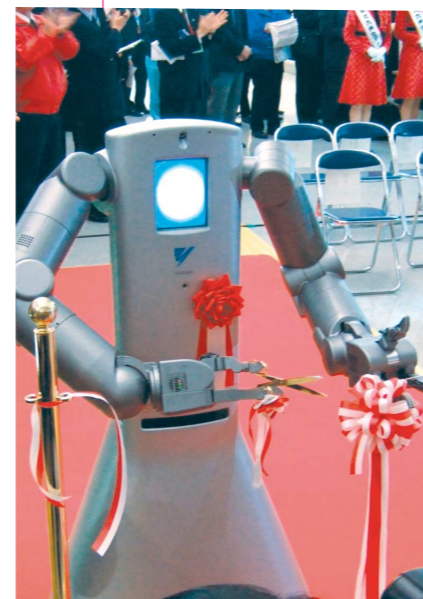
■お問い合わせ先:  
モーションコントロール事業部 事業企画部  
TEL: (04)2962-7915 FAX: (04)2962-6138  
http://www.yaskawa.co.jp/products/motion.htm

## 新北九州空港開港

3月16日、「新北九州空港」が開港しました。開港当日は早朝からターミナル開館式、初便式、到着式と相次いで式典が執り行われ、当社が開発した次世代ロボット「SmartPal」はターミナル開館式に出席しました。開館式には福岡県知事をはじめ北九州市長や苅田町長も出席され、当社利島取締役社長が列席し、消防音楽隊のファンファーレが鳴り響く中、

くす玉開きとテープカットが行われました。

SmartPalは来賓の方々々と並んでテープカットに参列し、器用な指を滑らかに動かして係の方からハサミを受け取り、テープ前に移動し、テープを掴んでカットして、見事に大役を果たしました。この様子は3月17日の朝日新聞朝刊で「第1便離陸に拍手/ハイテクも祝福」



テープカットするSmartPal

と題して大きく扱われました。

SmartPalは前日のリハーサル中から関係者の注目を浴び、テープカット後も初便に搭乗されるお客様に両手を振ってお見送りしたり、来場者に自己紹介したりするなどして関心を集めました。マスコミの取材も多数あり、私達も機能をわかりやすく説明したりチラシを配ったりと、ロボットメーカーとしての技術力をアピールできました。

大勢の注目の中で大役をこなすSmartPalをハラハラしながら見守りましたが、無事テープが切れた時はホッとしました。北九州に本社を置く当社の次世代ロボット「SmartPal」が、地元の活性化につながる新空港開港を皆さんと一緒に祝福できたことを嬉しく思います。

また、空港ターミナルビル2Fには日産自動車(株)殿の展示ブースがあり、同社九州工場での車の生産の様子が紹介されています。そこに安川電機の「MOTOMAN」も展示しており、溶接のデモを行っています。新北九州空港にお立ち寄りの際は、是非ご覧になって下さい。

■お問合せ先: 技術開発本部 開発研究所  
Tel 093-571-6644 Fax 093-571-6028